3 Hot In-place

Hot In-place Transforming®; HITONE®

HITONE®工法（熱風路上アスファルト変換工法）とは、既設の非排水性舗装材を100%再利用し、その場で2層に分け排水性舗装構造に変換する工法です。 ■特許（JP3849124）

HITONE®は加熱・掻きほぐし・篩い分け・敷きならしの4つの工程からなり、下図のような機械で構成されています。

加　熱

❶ 路面の加熱

掻きほぐし

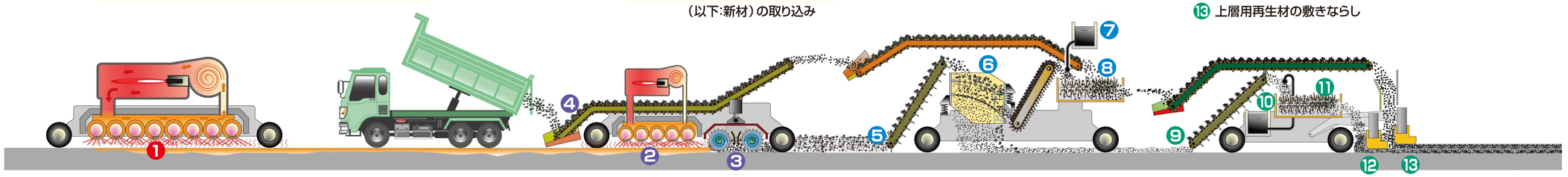
❷ 路面の加熱
❸ 既設アスファルト混合物（以下:再生材）のかきほぐし
❹ 新規アスファルト混合物（以下:新材）の取り込み

篩い分け

❺ 掻きほぐされた再生材の取り込み
❻ 再生材の篩い分け
❼ 添加剤の供給
❽ 上層用再生材、新材添加剤の混合

敷きならし

❾ 下層用再生材の取り込み
❿ 添加剤の供給
⓫ 下層用再生材、添加剤の混合
⓬ 下層用再生材の敷きならし
⓭ 上層用再生材の敷きならし



施工状況

施工前後の道路

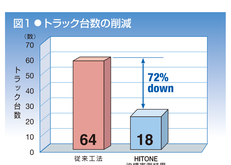
特　長

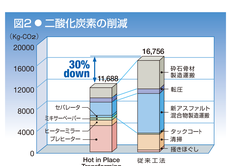
既設舗装のアスファルト混合物を100%再利用するため、

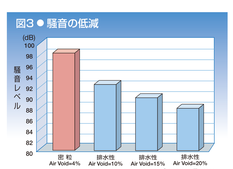
- 材料費を大幅に節約し、材料搬出入の運搬費、廃材の処分費を削減します。（図1）
- 舗装工事に要するエネルギーを節約し、二酸化炭素排出量を減少します。（図2）

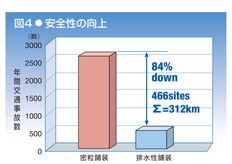
排水性舗装にすることにより、

- 騒音が低減します。（図3）
- 雨天時の安全性も向上します。（図4）







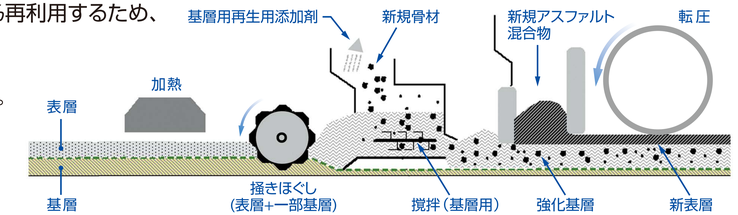


Hot In-place Strengthening®; HISART®

既設の基層の強化改善を図り、その上に新たに表層を敷きならします。 ■特許出願中〔特願（No.2007-292914）〕

既設舗装のアスファルト混合物を100%再利用するため、

- 材料費を削減し、材料搬出入の運搬費、廃材の処分費を削減します。
  従来工法よりも新材を70%削減します。
- 二酸化炭素排出量を大幅に減少します。

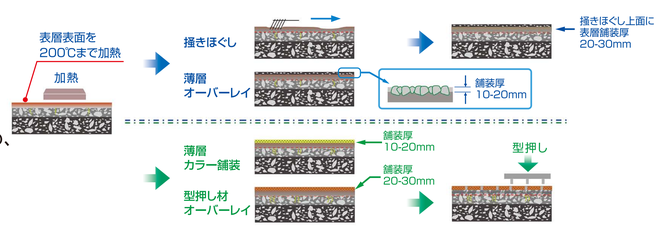


Hot In-place Overlaying™; 熱風路上簡易オーバーレイ（仮称）

ひび割れ、轍ぼれが生じている既設アスファルトを加熱し掻きほぐし、その上に新規の合材をオーバーレイします。

表層付近のひび割れ、轍ぼれの修正など、
比較的軽微な損傷の補修に効果的

- 従来の切削オーバレイ（5cm）に比べて、施工費用は約1/2に削減します。
- 切削後の清掃やAS乳剤の養生時間が不要なため、作業時間の短縮が図れます。
- CO_2排出量を65%低減し、舗装工事に要するエネルギーを節約します。



Green ARM
連絡先：グリーンアーム株式会社
TEL: 03-5217-1112
www.green-arm.com